

中世の富裕層

民衆のみた「長者」のすがた



源義朝公



由良神社



三庄太夫屋敷跡



義朝の墓



あらいたかしげ
講師：**新井 孝重**（獨協大学経済学部教授）

1950年埼玉県に生まれる。
1983年早稲田大学大学院博士課程修了。博士（文学）。
獨協大学経済学部教授（担当科目は日本社会史）
主要著書として『中世悪党の研究』（吉川弘文館、1990年）、
『東大寺領黒田荘の研究』（校倉書房、2001年）、『黒田悪党
たちの中世史』（日本放送出版協会、2005年）、『楠木正成』
（吉川弘文館、2011年）、『日本中世合戦史の研究』（東京堂
出版、2014年）、『中世日本を生きる』（吉川弘文館、2019
年）など

平治の乱に敗北した源義朝は家人長田庄司忠致の助けを求め、長田は義朝を殺し自分の欲望をかなえようとする。ところが長じた義朝の子頼朝によって、のちに残酷な報復を受けて滅ぶことになる。長田は遠隔地を行き来して交易をし大きな富を積んだ長者であった。その強欲さと冷酷さは伝説の世界で形づくられた丹後国のさんせう太夫とよく似ている。栄えたあとに残酷な滅び方をするとところが似ている。また残酷な滅亡が庶民のだれからも同情されない点もよく似ているのである。わたしたちは長田庄司やさんせう太夫のはなしをつくりだした民衆の情念に注目したい。その情念は中世の民衆が日々の生活のなかで都市富裕層である高利貸資本からうける圧迫と、これに対する怒りから生み出されていた。民衆の「長者」を見る目から中世の経済をさぐる。

日時 **7月27日(土) 14時～16時** (13時開場)

場所 **獨協大学 天野貞祐記念館大講堂**

東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通東武スカイツリーライン「獨協大学前(草加松原)」西口徒歩5分
*車での来校はご遠慮ください

受講 **無料 定員500人** 当日先着順 事前申込不要

共催:草加市

2019年度

獨協大学オープンカレッジ特別講座

獨協大学エクステンションセンター

☎048-946-1678

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1